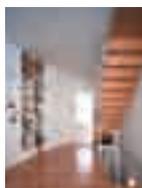


## 居住空間 × SATIS contents



### 機能性と造形美を併せ持つ、 長く使い続けたい究極のプロダクト

そこに暮らす人の価値観と建築家の思考が投影された居住空間は、人それぞれの価値観が異なるように千差万別です。そんなオリジナリティーに富んだ唯一無二の設計に対応可能なのが、どんなデザインとも融和するシンプルかつ流麗なフォルムのサティス。トイレという概念にスタイリッシュな新風を吹き込んだ革命児には、そこに暮らす人の意識をも豊かにしてくれる作用があります。



no.16	M.HOUSE	28
no.17	officeD	30
no.18	錦糸町のコートハウス	32
no.19	NYH	34
no.20	moving box	35
no.21	あいだ	36
no.22	house kf	37
no.23	K-8000	38
no.24	小杉の家	39





伊豆高原の国立公園指定地域にある300坪の敷地。美しい自然と澄んだ空気に恵まれた環境にあるM.HOUSEを手がけたのは建築家の水谷さんだ。「傾斜地だったので、土が崩れないよう擁壁を作る必要があったこと、建蔽率が20%の地域だったこともあり、広大な敷地内にめいっぱい擁壁を造り、外とプライベートを明確にしました。工事の際に剪定も行ったのですが、樹齢のある美しい2本の木をシンボルツリーとして残しながら部屋やプールを配置。寝室の窓からは木が望めるようになっていきます。施主がこだわりの深いグラフィックデザイナーだったので、主人が望む夢の世界を作りました」

» 建築家 水谷壮一さん

「トイレ、浴室と続く水廻りには仕切りを設けなかった。一般常識に捉われない空間には、シンプルなサティスが最適だった」

» ARCHITECT OFFICE:  
(株)水谷壮一デザイン事務所

ADDRESS 東京都港区南青山 4-24-10

BOX-8 3FC

TEL 03-3797-6790

FAX 03-3797-6405

16

## 高原の風が吹き抜ける居住空間

» M.HOUSE (エムハウス)



Satsphere: Residence Space

28



29

Satsphere: Residence Space

## 光の操作でメリハリのある空間を

» officeD (オフィス・ディー)

「居室の壁や天井には柔らかな質感を持ち、室内環境を快適に保つ効果のあるヌリカラットを、トイレ、バスルームには個性的で動きのあるビーンズタイルを使用。室内を独特のテクスチャーを持つタイルで仕上げ、空間内に差し込む光にも留意した。直射光、間接光、絞り込んだ開口、開放した開口……これらの光の操作を行うことによって、メリハリのある空間を目指した」と杉浦さん。特にビーンズタイルを使用したトイレ空間は、薄いブルーのタイルとピュアホワイトのサティスが清潔さを演出。さらに、表情のあるタイルとスタイリッシュなサティスが、この空間を心地いい遊びゴコロで満たしている。

» 建築家 杉浦宏幸さん

「居心地のいいウォッシュルームに仕上げるためには、視覚的にも心地よい便器が必要だったのでサティスを選びました」

» ARCHITECT OFFICE:

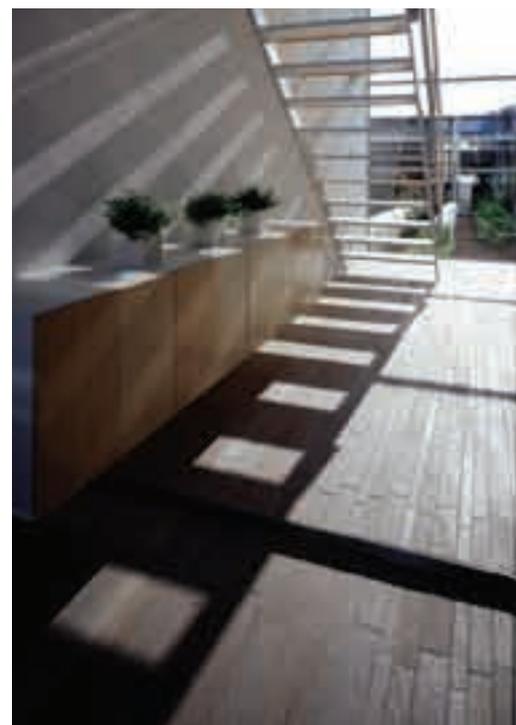
一級建築士事務所 杉浦事務所

ADDRESS 神奈川県横浜市港北区日吉 2-16-9-103

TEL 045-560-5901

FAX 045-560-5902

URL <http://www1.ttcn.ne.jp/~sugiura-hiroyuki/>



## 異なる光と色と素材を織り込んだ空間

» 錦糸町のコートハウス (kinsityou no corthouse)



「交通量の多い道路に面した敷地は騒音が大きく、周辺に高層住宅が建ち並んでいる地域。そこで、防音・防犯・プライバシー・日照の確保という施主の希望を満たすため、外周を閉じた建築形態の鉄骨造のコートハウス、均質な空間性を備えるラーメン構造のスケルトンとした。採光は中庭からの太陽光によって室内にもたらされる。居住空間は、時間経過によって異なる光と色と素材が織り成すテキスタイルをイメージし、空間の密度に変化をもたらすよう留意。この操作により、この場所で生活しながら常に時間(記憶)を意識させ、たゆまぬ環境の変化の中で自然を意識し、心地よく過ごせる空間造りを目指した」

» 建築家 米田正彦さん

「ダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーダミーの強い施主側の希望、サティスの採用はまるで違和感がなかった」

» ARCHITECT OFFICE:

ATELIER FOLIUM 一級建築士事務所

ADDRESS 東京都文京区千駄木 1-22-30-501

TEL 03-5814-8721

FAX 03-5814-8723

URL <http://www.folium-net.com/>



「名古屋市中心部にある狭小地で、敷地の東西は隣接建物が迫っていた。そこで、施工上必要な最低限の隣棟間隔を確保しつつ、最大限の居住スペースを確保するために、薄肉鉄板を採用。コンテナのようなボックスを4層に積み上げた構造とし、主な開口部を南北にとり、明るくシンプルな住宅を目指した。また、施主が仕事場兼住居として使用するため、最大限に得られる空間を倉庫や図書室、リビングなど大小さまざまなスペースに分け、各スペースが異なる質を持った空間になるよう心がけた。そこに降り注ぐ光の分布によって、施主から『いつも部屋が違う表情を持っている』との感想を聞き、嬉しい思いをした」

## » 建築家 ヨコミゾマコトさん

「こだわりの強い施主側の希望と、自分自身が様々な商業施設で使用してきたこともあり、サティスの採用はまるで違和感がなかった」

## » ARCHITECT OFFICE:

(有)AAT+ヨコミゾマコト建築設計事務所

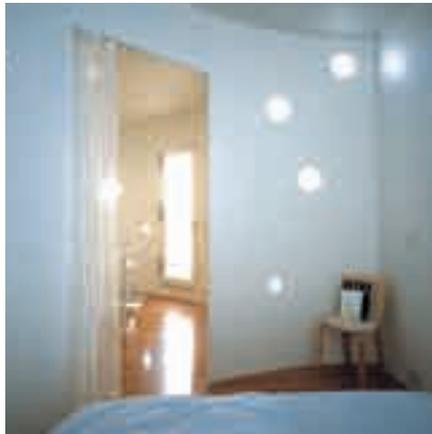
ADDRESS 東京都新宿区喜久井町4-1印刷会館ビル4F

代官山コーポラス17F

TEL 03-3205-9580

FAX 03-3205-9589

URL <http://www.aatplus.com/>



「施主は元プロサーファーのビジネスマン。12坪の狭小地に『多忙な仕事から帰ってからの休息地として、生活感のないシンプルなスタイル』が求められたので、重箱のように箱を3つに重ね、中央の箱を1つずらしたようなスタイルを提案。一度壁を閉じることによって外部の視界を遮り、ずらした箇所から採光と通風を得てプライバシーを保ちました。各階は僅か4m四方のワンルームなので、目に入る仕上げやディティールはごまかしのない中に無限の広がりを感じられるよう留意。生活の中心となる水廻りは、限られた空間を広く見せるために、極力間仕切りをなくしてガラス張りとししました」。

## » 建築家 新堀秀一さん

「機能性とデザイン性を兼ね備えている点でサティスを採用。周囲の暖房機器の色もサティスに合わせて塗装色を指定しました」

## » ARCHITECT OFFICE:

一級建築士事務所 nio architects

ADDRESS 東京都杉並区高井戸西2-7-38

代官山コーポラス17F

TEL&FAX 03-6303-6820

URL <http://niibori-a.com/>





21

## 集う人々の間に様々な力が作用しあう空間

» あいだ (aida)

江ノ電と海岸線に挟まれた敷地に建つ陶芸家とデザイナーのための住宅。「時の流れに左右されない周辺環境に対し、建築の構造や仕上げ材にもシンプルなものが求められたので木を多用。全体としてはライフスタイルを象徴する大きな生活空間を、階段周り等の周辺部分が支える構成になっています。南面にテラスを持つ洗面所や浴室から海が見えるのですが、寝室からも壁と壁のあいだからシンプルに白でまとめた水廻りの先に海を臨むことができます。箱という概念より、壁と壁のあいだ、天井と床のあいだを通して視線と空気が建物の反対側まで抜け、そのあいだに生まれる雰囲気や質感を大切にしました」。

» 建築家 彦根アンドレアさん

「寝室から見える所に置きたかったので、タンクレスですっきりしたフォルムのピュアホワイトのサティスを選びました」

» ARCHITECT OFFICE:

彦根建築設計事務所

ADDRESS 東京都世田谷区成城 7-5-3  
代官山コーポラス 17F  
TEL 03-5429-0333  
FAX 03-5429-0335



## 愛車を愛でるための居住空間

» house kf (ハウス・ケーエフ)

22



「愛車のフェラーリを見ながら暮らしたいというのが施主からのほぼ唯一の条件。プラス生活感がないクールでシャープな家をと求められたので、シート貼りにした床と壁を白に、水廻りを囲み吹き抜けから天井へ連なる壁を黒、そこに車体の赤が加わる3つの要素で空間を構成しました。さらに、2階のテラスをグレーチングにすることで、床を抜けて陽光が階下まで射し込み、空間の中を光が飛び散っているようなイメージです」と杉浦さん。こだわりの深い夫婦の価値観を投影した居住空間にはスタイリッシュなトイレをと、ピュアホワイトのサティスを選択。白が生きた空間に、純白のフォルムが映える。

» 建築家 杉浦宏幸さん

「こだわりの深い施主から、トイレ空間にもインテリア性の高さを求められたので、サティスを選びました」

» ARCHITECT OFFICE:

一級建築士事務所 杉浦事務所

ADDRESS 神奈川県横浜市港北区日吉 2-16-9-103  
代官山コーポラス 17F  
TEL 045-560-5901  
FAX 045-560-5902  
URL <http://www1.ttcn.ne.jp/~sugiura-hiroyuki/>

千葉の田園風景に佇む K-8000。この居住空間を手がけたのは建築家の前田さんだ。「サーファーである施主が希望したのは、ボードが置ける倉庫を確保することと、仲間のサーファーが集うテラスの設置。周囲を畑で囲まれた田園地帯の眺望を満喫できるよう、2階部分にテラスを設えました。最初は屋上にデッキをという話もあったのですが、予算の問題もあり2階へ。キッチンが同じフロアにあることから料理も出しやすく、結果的によかったです。また、光が多く入る明るい空間をという要望もあったので、田園風景が見えるサイドをガラス張りにし、そこにバス、トイレ等の水廻りを集中させました」。

» 建築家 前田紀貞さん

「空間を広く見せるために水廻りをガラスで囲ったので、タンクレスでコンパクト、さらに形が美しいサティスを選びました」

» ARCHITECT OFFICE:

前田紀貞アトリエ一級建築士事務所

ADDRESS 東京都狛江市和泉本町1-9-5  
 グラスハウス 1F  
 TEL 03-3480-0064  
 FAX 03-5438-8363



幹線道路沿いで交通量が多く、商業施設や集合住宅が建ち並んでいる土地を見た新明さんは、プライバシーを守り、非日常(リゾート)感を演出することが課題だと考えた。「空間を接客時に使用するパブリックゾーンと家族のためのプライベートゾーン、リゾートゾーンの3つに分け、やや長い屋内外の通路で結ぶという単純な構成がベース。さらに隣地・道路面とプライベートゾーンの間に連続した壁と植栽を設けることによって、二重の壁でプライバシーを守ることになりました。それぞれのエリアが交差しながらも関わりをもつ連続性にもこだわり、この場所が施主の楽園となることを目指しました」。

» 建築家 新明大輔さん

「目指す空間に合うプロダクトを探している最中にサティスに出会い、その優れたデザインとフォルムに心惹かれました」

» ARCHITECT OFFICE:

正栄産業一級建築士事務所 + 新明大輔

ADDRESS 富山県富山市下新北町54-1  
 TEL 076-439-0644  
 FAX 076-439-0645  
 URL <http://www.sho-ei.net/>

